

各委員の項目別評価及び意見等の一覧

●医療サービスの向上に向けた取組

項目	評価	大江委員	加茂委員	阪上委員	谷田委員	土岐委員
(1) 急性期病院としての機能充実						
①がん医療の充実	B	計画を下回った項目はあるが、手術件数が増加していることは評価できる	A	A オベの件数増加は評価できる。	A コロナ対応を行いながら、通常の医療提供において実績を伸ばしていることは高く評価できる	A コロナ禍において実績を伸ばしており評価できる。
②救急医療の充実	C	応需率の低下はやむを得ない事情があると理解するが、公立病院として、より積極的に応需する姿勢を期待する	C 小児科の人員体制が、当直体制を維持するためには厳しいように思う	B 搬送件数は維持できている。小児科の減はコロナの影響でどこも落ち込んでいる状況であり、やむを得ない。	B 市内で医療崩壊が起こっていないければ、応需率の低下は問題ないと考え	B コロナの影響により一定応需率が下がることは致し方ないのではないかな。
③質の高い医療を提供するための体制・設備の整備	B	一定の件数を確保できており、評価できる	B	B 一定の件数を確保できており、評価できる	A コロナ対応を行いながら、通常の医療提供において実績を伸ばしていることは高く評価できる。	B コロナ禍において実績を伸ばしており評価できる。
(2) 地域医療への貢献						
①地域の医療機関などとの役割分担・連携強化	B	コロナ禍にもかかわらず、診療所訪問を120件実施したことは評価に値する	C 重要な項目であるので、もっと成果を上げてほしい。かかりつけ医をどうするかという問題など、医師会との協力体制を築けないかな？ そのためには病院がイニシアチブをとっていく必要がある。	B 実績を維持できている	B コロナ禍であることを踏まえ、一定の実績を確保できている	B コロナ禍が続くなか、昨年よりは実績がのびている。
②地域包括ケアシステムの構築を念頭に置いた取組	B	ケアマネとの対面がが難しいなどにより、一部加算の件数が減少していることはやむを得ない	C 医療と介護は分けられないものである、一体となった体制築けないか。教授に開業医向けの勉強会をしてもらうなど考えてはどうか。	B 実績を維持できている	B コロナ禍であることを踏まえ、一定の実績を確保できている	C 昨年度より加算が減少していることはいかがなものかな。
③地域の中核病院としての貢献	B	実績を維持できている	B	B 実績を維持できている	B コロナ禍であることを踏まえ、一定の実績を確保できている	B
④地域に不足する医療機能への対応	A	歯科口腔外科、眼科の診療実績は高く評価できる	B	A 歯科口腔外科、眼科の診療実績は高く評価できる	B コロナ禍であることを踏まえ、一定の実績を確保できている	A
⑤生涯教育の充実	C	代替措置であるWeb配信の実績が少ないことは残念	C	C 代替措置であるWeb配信の実績が少ないことは残念	B コロナ禍であることを踏まえ、一定の実績を確保できている	C もう少し工夫できないかな。

各委員の項目別評価及び意見等の一覧

項目	評価	大江委員	加茂委員	阪上副会長	谷田委員	土岐会長
(3) 患者サービスの向上						
①職員への意識啓発	B	問題なく実施できている	B	B 令和元年度と同様であり、問題なく実施できている	B 中央病院がコロナ禍における公立病院の役割をしっかりと果たしているという事実を、全職員に認識しておいてほしい	B 問題なく実施できている
②情報発信の強化	B	問題なく実施できている	B	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている
③療養環境の改善	B	問題なく実施できている	B	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている
(4) 危機管理体制の充実						
①災害時医療への対応	B	問題なく実施できている	B	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている
(5) 職員の意識改革と組織変革						
①職員のアクティビティとモチベーションの向上	B	問題なく実施できている	B	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている
②組織の活性化	A	事業管理者のメッセージを月2回の頻度で発信できていることは高く評価できる	B	A 新しい取り組みとして事業管理者のメッセージを開始したことは高く評価できる	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている

各委員の項目別評価及び意見等の一覧

●経営の健全化に向けた取組

項目	評価	大江委員	加茂委員	阪上副会長	谷田委員	土岐会長
(1) 病床稼働率の向上						
①地域の医療機関などとの連携強化による医療機能の利用促進		B 計画は下回っているものの、小児科の落ち込みなどやむを得ない事情があると理解した	B	B 令和元年度より実績が上がっていることは評価できる。	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている
②地域包括ケア病棟の利用促進	-	-	-	-	-	-
③緩和ケア病床の利用促進	-	-	-	-	-	-
④病床稼働率確保に向けた体制の整備		B 一定の実績を確保できている	C 病床稼働率は80%がマストである。統合を控えた今どれほどいうべきかという点はあるが。	B 一定の実績を確保できている	A コロナ対応に伴い一般病棟の稼働病床数を縮小している中で一定の実績を確保できており、評価できる	B コロナ以外の患者数は一定確保できているのではないかな。
(2) 診療単価の増加						
①適切な診療報酬の確保		B 一定の実績を確保できている	B	A 令和元年度と比べ上がっていることを評価	B 急性期病院らしい診療単価となっている	B 一定の実績を確保できている
(3) 費用の適正化						
①診療材料費の適正化		B 数字的には問題ない	B	B 数字的には問題ない	B コロナ禍において、あまりこの部分を締め付けすぎるのは良くないのではないかな	B 一定の実績を確保できている
②後発医薬品の積極的な利用		A バイオシミラーの使用実績が大幅に伸びていることは高く評価できる。	B	A 今後は90%を目指していくことが必要である。バイオシミラーについては件数の多いレミケードとペバシズマブの切り替え率が重要である。	A 顕著な実績を上げており評価できる	B 一定の実績を確保できている
③職員給与費対医業収益比率の改善		C 新型コロナに関する補助金はいつまでも続くものではないので、先を見据えて支出を減らす必要がある	C	B 公立病院が構造上高い人件費になってしまうことは一定やむを得ない。一定改善が見られることは評価できる。	B 対医業収益比率は実態を現しておらず意味のない指標であり、対経常収益比率でみるべきである。その意味では良い水準である	B 計画の水準が元々高い目標ではないのではないかな。非正規職員の分が含まれていないということをどう考えるか。